

FOCIS 取扱説明書

株式会社フジクラ



目 次

製品概要	3
ハードウェア概要	4
DFD1 タッチスクリーンタブレットコントロールと機能	4
DFD1 アクセサリ	6
DFS1 デジタルファイバスコープ	7
はじめに	7
ACアダプタの接続	7
電源のオン、オフ	8
DFS1デジタルファイバスコープの接続	8
ソフトウェア概要	9
AFL SimpleView Plus検査ソフトウェア	9
特許申請中の機能 - 画像ペアモード	9
ズームとパン	10
画像撮影、保存、リコール	11
DFD1 タッチスクリーンタブレット画面構成	11
動作モード概要	12
画像ビューア概要	13
画像撮影とプレビューユーティリティフィールドの概要	14
取扱説明	15
DFS1アダプタ・チップの選択と変更	15
ファイバ検査とバルクヘッドコネクタ	15
ライブ画像検査モード	16
画像撮影モード	18
画像マネージャ	20

Table of Contents

レビュー用に画像を開く方法	22
画像レビューモード概要	23
設定モード概要	24
一般設定	24
画像撮影設定	25
テキスト編集	25
電源設定	26
画面について	27
FAQs	28
Warranty Terms and Conditions	29
Product Registration	29
Contact Us: Returning Equipment	29
Repair Services	30
Standards Compliance Information	30
お問い合わせ先	31

製品概要

NOYESシリーズのFOCIS ファイバコネクタの清浄を記録する機能を備えた統合ファイバ検査ソリューションをネットワーク担当者に提供いたします。

FOCISは、基本の使用、耐久性と所有コストのしやすさは、現在のノートパソコンとブローブ溶液の検査と分析力と人間工学を提供するために、手のひらサイズのDFD1タッチスクリーンタブレット、DFS1デジタルファイバースコープとAFL シンプルビュープラス検査ソフトウェアを組み合わせた“唯一の生きる”視聴者。その光学分解能と検出仕様は現在の国際基準を超え、市場の要件が進化としてのソフトウェアベースの検査および分析アプリケーションをアップグレードすることができますので、FOCISソリューションは、将来性があります。

FOCIS は、手のひらサイズの DFD1 タッチスクリーンタブレット、DFS1 デジタルファイバースコープとAFL シンプルビュープラス検査ソフトウェア を組み合わせ、現在のノートパソコンと 調査解決 と 人間工学、使い易さ、荒さと基本的に“live のみ”のビューアの所有者のコストの検査と分析力を提供します。その光学分解能と検出仕様は現在の国際基準を超え、市場の要件が進化としてのソフトウェアベースの検査および分析アプリケーションをアップグレードすることができますので、FOCISソリューションは、将来性があります。

DFD1 タッチスクリーンタブレットは、AFL シンプルビュープラス検査ソフトウェアを備えている特注、携帯 Windows®コンピュータです。その明るい、鮮明な表示が詳細な画像とそのズーム/パン機能は、ユーザーが最小の粒子、傷や欠陥を識別できることを提供します。縦長の形は、簡単に保持し、片手で操作することができます。FOCIS固有の特長は、ジャンパー/バルクヘッド、入力/出力、および他の一般的なファイバの清浄の比較の前/後の簡素化、特許出願中の機能です。その他の機能としては、画像撮影と保存/リコールがあります。1000ファイバ画像には、オンボードメモリに記憶されてもよく、画像は、任意の市販のUSBメモリストிக்கまたはSDフラッシュカードを介して転送することができます。DFD1はチルトスタンドとハンガースも兼ね実績のある衝撃吸収ラバーブーツを採用しています。

DFS1デジタルファイバースコープは、高解像度のビデオ検査ブローブです。それは、集束ノブと画像撮影ボタンを備えています。DFS1アダプタのヒントの豊富な品揃えは、それがファイバコネクタのフェルールとバルクヘッドコネクタのすべてのタイプで 사용할 ことができます。バルクヘッドのチップは複数の長さだけでなく、真つすぐと60°の角度で利用可能です。コネクタアダプタは使用可能なPC / UPC、APC1.25ミリメートルのフェルール研磨、2.5ミリメートルとMPO/ MTPコネクタです。

ハードウェア概要

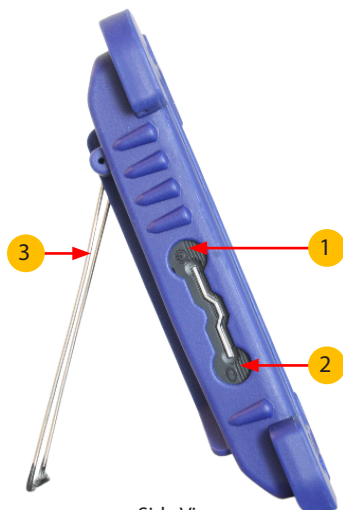
DFD1タッチスクリーンタブレットコントロールと機能



番号	コントロール/機能	説明
1	パワーポート	AC電源アダプタ/チャージャのためのインターフェースです。
2	Mini USB ファンクションポート	- ファイバ端面検査と撮像用 DFS1 DEGITALのファイバースコープへの接続ができます。 - USBメモリスティックに保存した画像を転送することができます。
3	ACアダプタ/チャージャ インジケータ	- ONは、ACアダプタはDFD1に接続されていることを示します。 - 赤い光がON: バッテリー充電中であることを示します。 - 緑の光がON: バッテリーが満充電になったことを示します。
4	タッチスクリーン画面	画面上のコントロールとメニューが含まれています。 ライブ画像を示すために用いられて、撮影され、保存された光ファイバ端面の画像、ライブ画像の設定、画像キャプチャモードは、一般的な設定とイメージマネージャを表示するために使用されます。

ハードウェア概要

DFD1タッチスクリーンタブレットコントロールと機能



Side View



Bottom View

番号	コントロール/機能	説明
1	電源ボタン	・ DFD1タッチスクリーンタブレットを起動するときに押します。 ・ スリープモードにするには7秒未満押し続けてください。 ・ 電源を落とすには、7秒以上押し続けてください。
2	未使用ボタン	注:このボタンは何も機能がありません。
3	Bail	Bailは傾斜スタンドあるいはハンガーとして使用できます。
4	SD フラッシュカードスロット	SDフラッシュカードはファイバ端面画像を保存して、移すために使用されます。

ハードウェア概要



背面



AC アダプタと充電プラグ

DFD1コントロールと機能

1 - ケーブル保持具

ケーブル保持具は、USBケーブルの張力緩和ができるよう設計されています。

DFD1 アクセサリ

ミニUSB変換ケーブルへのUSB

2 - ミニUSB変換ケーブルへのUSBは、付属しております。このケーブルはDFD1タッチスクリーンタブレット(ミニUSBポート)にDFS1デジタルファイバースコープ(USBプラグ)を接続することができます。

ACアダプタ

DFD1のACアダプターは、次の地域用に、4本の交換可能なACアダプタ・プラグをご用意しております。: 北アメリカ、ヨーロッパ、イギリスとアジア。

- ・適したACアダプターのプラグを選択して、ACアダプタ/充電器の背面に取り付けます。
- ・プラグを変更するには、ACアダプタ/充電器の背面から取り外します。
- ・所定の位置に別のACアダプタのプラグを置いて下さい。

ハードウェア概要

DFS1 デジタルファイバースコープ

DFS1デジタルファイバースコープとDFS1アクセサリの詳細については、DFS1に付属しているDFS1クイックリファレンスガイド、またはwww.AFLglobal.comを参照してください。

はじめに

ACアダプタの接続

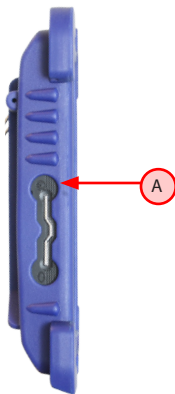
- ・ DFD1 タッチスクリーンタブレットは、ACアダプタに接続している間、操作と、内部バッテリーの充電を同時に行うことができます。ACアダプタをつなぎます:
- ・ ACアダプタ/充電器を標準的な壁面コンセントに接続してください。
- ・ DFD1トップ制御盤にある電力ポートに、ACアダプタ/充電器を接続してください。 **(A)**
 - バッテリー充電中は、ACアダプタ/充電器インジケータ **(B)** は、赤く点灯します。
 - バッテリーが完全充電されると、AC/充電器インジケータは緑になります。



上面

はじめに

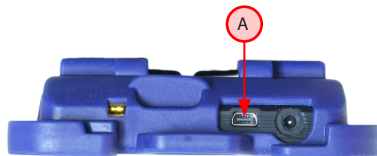
電源のオン、オフ



側面

- ・ **A** ボタンを押して、DFD1 タッチスクリーンタブレットの電源を入れてください。
- ・ **A** ボタンを7秒未満押し続けるとスリープモードになります。
- ・ **A** ボタンを7秒以上押し続けると電源が切れます。
- ・ 注: DFD1タッチスクリーンタブレットはACアダプタが電力ポートに差し込まれているときはいつでも自動的に電源が入ります。

DFD1 デジタルファイバースコープの接続



Top View

ミニUSBコンバータ・ケーブルに供給されたUSBを使用して、DFS1のUSBコネクタをDFD1 USBポート **A** に押し込んでください。

ソフトウェア概要

AFL SimpleView Plus検査ソフトウェア

SimpleView Plus検査ソフトウェアは、活線(live)ファイバ検査用のために、詳細な光ファイバ端面の画像の取り込み、保存/リコールを提供しています。そのズームとPanの機能は、ユーザーが最小の粒子、傷、欠陥を識別することができます。ユニークな特許申請中の機能(画像ペアモード)は、前/後、入出力、清掃、交合と他の一般のファイバ清潔比較を単純化します。

その他の機能としては、画像キャプチャと保存/リコールがあります。最大1000のファイバ画像はオンボードメモリに保存され、そして、画像は市販のUSBメモリースティックまたはSDフラッシュカードによって移動できます。

特許申請中の機能 - 画像ペアモード

画像ペアモードを有効にすると、ファイバ検査の前に予めセットされた組み合わせモードを選択して、ファイバ端面を調べて、簡略化された識別、記憶力とリコール、およびレビューのために選択された予めセットされたラベルとともにファイバ端面を検査し、キャプチャ画面を保存することができます。

画像ペアモードの利点を使用するには:

1. ファイバ検査の前に予めセットされた画像ペアモードを選んでください。このセットアップは設定モードにて行われます。(詳細は25ページ「画像キャプチャ設定」を参照してください。)利用可能な画像のペアプリセットは次の通りです。

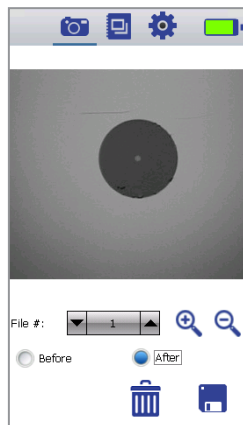
画像ペアプリセット	説明
Before/after	before/afterファイバ検査比較の一般的なプリセットです。
Input/output	input/outputファイバ検査比較の一般的なプリセットです。
Cleaning	清掃前と後のファイバ端面を検査するために使用されます。
Mating	交合コネクタとパルクヘッドの検査に使用されます。
Documentation	as-built/as-foundファイバ敷設および保守に使用します。

ソフトウェア概要

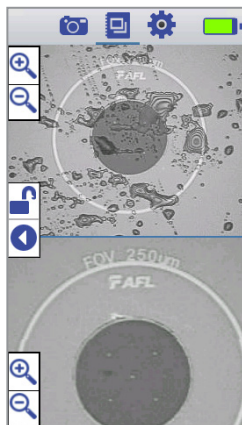
特許申請中の機能 - 画像ペアモード

2. 画像ペアモードが有効にされた後、撮影された画像は、画像のペアを識別するための選択されたペアリングモード・ラベル (Before/after, Input/output, Cleaning, Mating, Documentation) に保存されます。
3. 画像のリコールとレビューを簡素化するために、保存されている画像は、必要に応じてユーザが選択した画像ペアモード(詳細は20ページ“イメージマネージャ”を参照してください)

ズームとパン



画像撮影モード



画像レビューモード

ズームとパンの機能は、キャプチャレビューモード(詳細は18ページ “イメージキャプチャモード”を参照してください)とイメージリコール/レビューモード(詳細は、23ページ“画像レビューモードの概要”を参照してください)でご利用いただけます。

ズーム機能は、イメージビューア内に表示された画像のサイズを変更するために使用されます。画像の詳細図が必要な場合、この機能は便利です。

パンは、ユーザーが現在の倍率で表示領域を移動することができます。

ソフトウェア概要

画像撮影、保存、リコール

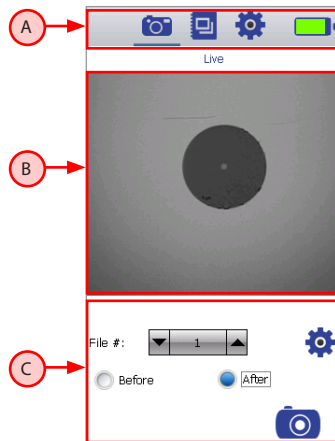
画像撮影、保存、およびリコールの機能は、撮影し、ドキュメント、レビュー、および転送のためにファイバ端面の画像を保存することができます。DFD1タッチスクリーンタブレットは内部で1,000端面までの画像を保存することが可能です。また、画像は、SDフラッシュカードに保存されることもあります。

ミニUSB変換ケーブルまたはSDフラッシュカードの画像に任意の既製のUSBメモリスティックと付属のUSBを使用してPCに転送することができます。

DFD1 タッチスクリーンタブレット画面構成

DFD1タッチスクリーンタブレット画面はいくつかのセクションに分割されており、以下のよう
にまとめることができます。

A	動作モードとバッテリー状態/充電インジケータ・フィールド - DFD1動作モードの1つを選択し、バッテリーの充電状態やACアダプタ/充電器インジケータをみることができます。 詳細については12ページを参照してください。
B	画像ビューア - ファイバ端の画像が表示されている場所です。 詳細については13ページを参照してください。
C	画像キャプチャとプレビューユーティリティフィールド - このセクションは、各種のセットアップ・ユーティリティおよび機能が含まれています。 詳細は、14ページを参照してください。

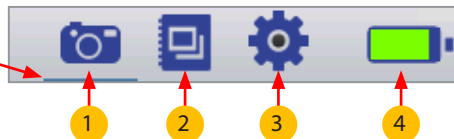


ソフトウェア概要

A 動作モード概要

- 各アイコンは、異なる動作モードを表しています。
- 動作モードを選択するモードのアイコンをタップしてください。

このバー/タブは、現在実行中のモードを示します。



番号	アイコン	機能/モード	説明
1		ライブ画像モード	このアイコンは、ライブ画像モードを示しています。他のモード、画面で、このアイコンをタップすると、ライブ画像モードにナビゲートします。
2		画像マネージャ	このアイコンをタップすると画像マネージャモードを表示します。
3		設定	このアイコンをタップすると、一般的とキャプチャモード設定を選択し、モード設定をキャプチャし、電源設定を変更して、画面についてのバージョン情報を表示します。
4		バッテリー	DFD1がバッテリーにて操作されているときに表示されます。
		充電インジケータ	このアイコンは、バッテリーが100%でなく、AC電源が接続されているときに、表示されます。そのバッテリーが充電中であることを示します。
		充電完了インジケータ	このアイコンはDFD1がACで動作し、バッテリーを使用していないことを示すために表示されます。 バッテリーが完全に充電されたときに表示されます。

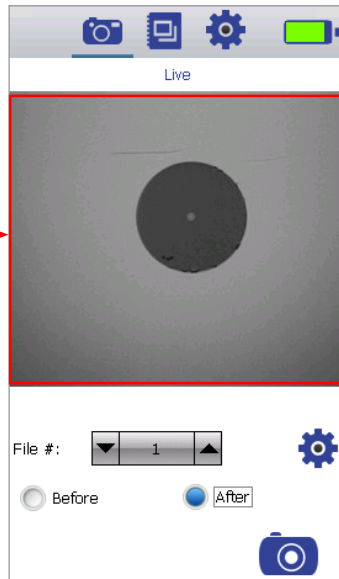
ソフトウェア概要

B

画像ビューア概要

画像ビューアDFD1画面の中央部分を占めています。次のいずれかが表示されます。

- ・DFD1ライブ検査モードで動作している場合、検査されている光ファイバ端面のリアルタイム画像が表示されます。
- ・DFD1は、画像キャプチャとプレビューモードで作動しているときは、保存する前にプレビューされている撮影した画像が表示されます。
- ・DFD1は画像レビューモードで作動しているときは、以前に保存された画像または画像のペアを表示します。

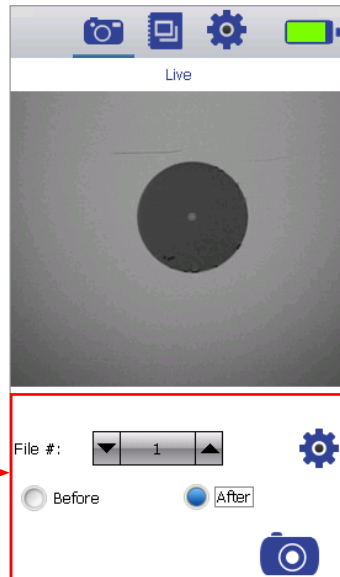


ソフトウェア概要

③ 画像撮影とプレビューユーティリティフィールドの概要

画像キャプチャとプレビューユーティリティフィールドは、いくつかの機能があります。

- ・ライブ画像モードで、このフィールドは、ライブ画像設定モードへのアクセスと、撮像機能を提供します。
- ・撮影した画像のプレビューモードでは、このフィールドは、ユーザが撮影した画像を確認し、削除するか、ユーザー定義のフォルダに保存することができます。



取扱説明

DFS1アダプタ・チップの選択と変更

*FS1アダプタ・チップを選択して変更する方法については、ご購入いただいたDFS1に付属しているDFS1デジタルファイバースコープの簡易取扱説明書かwww.AFLglobal.comをご参照ください。

ファイバ検査とバルクヘッドコネクタ

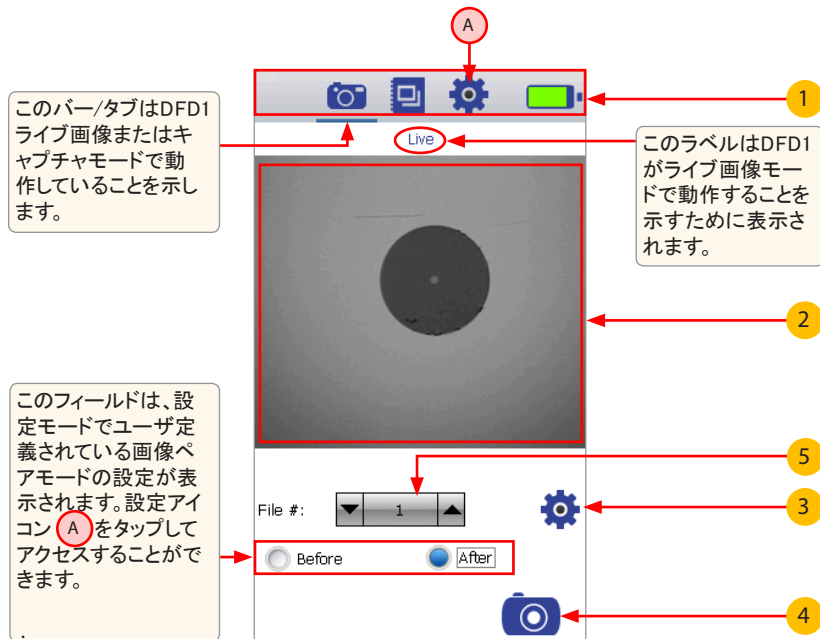
以下の手順は、DFS1デジタルファイバースコープが適切なアダプタチップでインストール*（上記の注を参照）で構成されており、DFD1タッチスクリーンタブレットの電源が投入され、DFS1はDFD1に接続され、DFS1からリアルタイム画像は、DFD1に表示されていることを前提としています。

1. 光ファイバコネクタをテストする場合：
 - ファイバコネクタの端面を汚さないよう十分注意して、インストールされているアダプタブープ先端に光ファイバのフェルルールをスライドさせます。
 - 黒い丸（ダークサークル）が、接続されているデバイスの画面に表示されます。
2. バルクヘッドアダプタに搭載された光ファイバコネクタをテスト場合：
 - バルクヘッドアダプタにブロープアダプタの先端をスライドさせます。
 - 黒い丸（ダークサークル）が接続されたデバイスの画面に表示されるまで、アダプタの先端の角度を調整します。
3. 表示された円が鮮明になるまでDFS1のフォーカス調整ノブを時計回りまたは反時計回りに回転させます。
4. 良好な画像が得られたら、DFS1のDisplay Captureボタンを押すか、DFD1タッチスクリーンタブレット上でキャプチャーアイコンをタップすることでそれは撮影できます。
 - どちらでも表示されたライブ画像を凍らせているDFD1に終わります、そして、それをImage Captureモードの静止画像と表現してください。
5. キャプチャモードでは、パンとズーム機能を使って撮影した画像を確認してください。
6. 表示された画像でよい場合は、保存するために[Save]をタップし、それ以外の場合は、削除キーを押します。（18ページの”イメージキャプチャモード”の項を参照してください）
7. 撮影した画像を保存または削除した後、DFD1ライブ画像モードに戻ります。

取扱説明

ライブ画像検査モード

ライブ画像モードはDFS1デジタルファイバースコープで検査されている光ファイバ端面のリアルタイム画像が表示されます。



取扱説明

ライブ画像検査モード

番号	アイコン	機能/モード	説明
1		操作モード	詳細については、“動作モードの概要”(12ページ)の項を参照してください。
2		イメージビューア	このフィールドは、検査されているファイバ端面のリアルタイム画像が表示されます。
3		ライブ画像設定	ライブ画像モードでは、このアイコンをタップすると設定画面を表示し、ライブ画像の明るさ、コントラスト、カラー設定を選択できるようになります。 Brightness: ▼ 0 ▲ Contrast: ▼ -8 ▲ Color: On Off 終了するにはタッチ
4		イメージキャプチャ(撮影?)	キャプチャアイコンをタップすると、表示されたライブ画像をフリーズし、撮影した画像を解析して、保存したり削除することができ、撮影モードに切り替わります。
5		ファイル番号	このフィールドは、現在のファイル番号が表示されます。上矢印または下矢印をタップして変更することができます。 注: 画像は、撮影モード画面で保存されると、ファイル番号が自動的に加算されます。

取扱説明

画像撮影モード

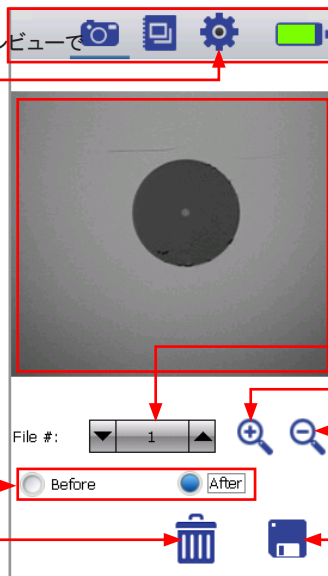
The Image Capture mode displays a still image of the fiber being inspected. This mode allows the user to preview the captured images, change the currently displayed file number and either store or delete the displayed image. The Capture mode is accessed from the Live Image mode when the Capture icon is pressed.

イメージキャプチャモードは、検査されているファイバーの静止画像を表示します。

このモードでは、撮影した画像をプレビューで

詳細については、“動作モードの概要”(12ページ)の項を参照してください。

このフィールドは、設定アイコン **A** をタップしてアクセスした設定モードにてユーザ定義されている画像ベアモードの設定が表示されます。



取扱説明

画像撮影モード

番号	アイコン	機能	説明
1		画像ビューア	このフィールドは、検査されている光ファイバの静止画像を表示し、ズームとパンの機能を提供します。
2		ズームイン	倍率を上げるためにタップすると、より詳細な表示された画像を得られます。 連続ズームのために、長押ししてください。
3		ズームアウト	倍率を下げるときにタップすると、詳細ではない表示された画像を得られます？ 連続ズームのために、長押ししてください。
4		パン	イメージビューア・ウィンドウ内の所望の位置にドラッグし、イメージビューアに表示されてファイバ端の画像を長押ししてください。
5		保存	[保存]アイコンをタップすると、内部の不揮発性メモリまたは外部のSDフラッシュメモリカードにまだ表示された画像を保存します。保存した後、DFD1ライブイメージモードに戻ります。
6		削除	[削除]をタップする - ゴミ箱アイコンは、現在表示された静止画像を破棄します。 削除した後、DFD1ライブイメージモードに戻ります。

取扱説明

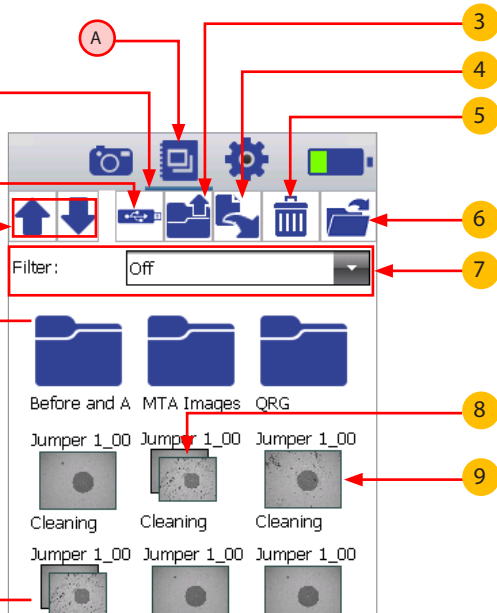
画像マネージャ

イメージブラウザの画面はイメージブラウザのアイコン **A** をタッチして表示されます。
このモードでは、レビュー用の格納された結果を参照して選択し、新しいフォルダを作成し、格納されたデータをコピー/転送できるように、ファイルマネージャ機能を提供します。

このバー/タブはDFD1が画像マネージャモードで動作していることを示します

このフィールドは、保存された画像やフォルダのサムネイルを表示し、レビューのために、目的の画像ファイルをナビゲートし、選択することができます。

- ・保存されている画像をスクロールするには矢印を上下に押してください。
- ・画像のレビューモードで表示したい画像のサムネイルをタッチします。



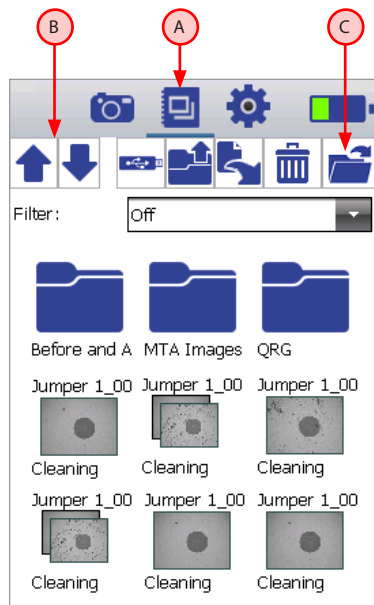
取扱説明

画像マネージャ

番号	アイコン	機能	説明
1		ページアップ/ ダウン	保存したファイルをスクロールするためにタッチします。
2		選択ドライブ	このアイコン(USBフラッシュドライブ)をタッチすると、ドライブの選択ダイアログを起動し、ユーザーが画像のブラウジング(SDカードまたは該当する内部ドライブの目的のドライブを選択することができます)。
		ディレクトリの一つ上のレベル	このアイコンをタッチすると現在のディレクトリの親ディレクトリ(上へ1つのレベル)に行きます。
4		コピー	選択したメディアに選択したファイルやフォルダをコピーします。
5		削除	現在選択されている画像を削除するときにタッチします。確認するプロンプトが表示されたら、[はい]または[いいえ]をタッチします。
6		開く	- 画像または画像ペアを選択しているとき、現在選択されている画像または画像のペアを開くためにタッチします。 - フォルダを選択するとき、現在選択されているフォルダを折りたたむためにタッチします。
7		フィルタ	選択したフィルタによって画像をソートして表示することができます。: off, before/after, input/output, cleaning, mating, documentation, unpaired.
8		画像ペア	撮影設定モード(詳細は25ページを参照)で有効になったペアモードオプションのいずれかで保存された画像ペア。
9		単一画像	ペアモードをオフにして保存された一枚の画像。(詳細は25ページを参照)

取扱説明

レビュー用に画像を開く方法

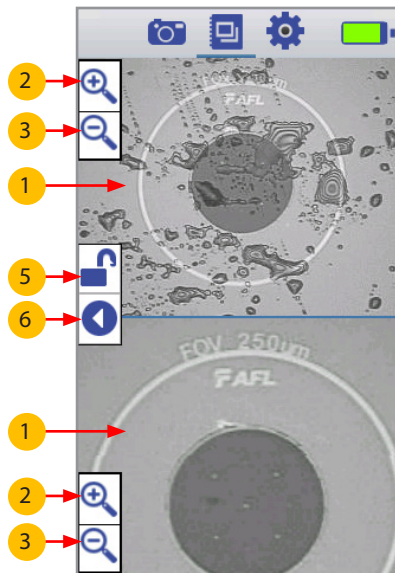


以前に保存した画像または画像のペアの確認方法は、次の手順です。

1. 画像ブラウザアイコン **A** をタッチして、画像ブラウザを開きます。
2. 所望の画像に移動します。
 - 保存した画像をスクロールするには、**B** をタッチして上下します。
 - フォルダを閉じるには、フォルダを選択し、開くアイコン **C** をタッチします。
3. 所望の画像を選択するときは、開くアイコン **C** をタッチするか、選択された画像のサムネイルをタッチします。
4. 選択した画像または画像のペアは(23ページの図を参照)画像レビュー画面に表示されます。

取扱説明

画像レビューモード概要

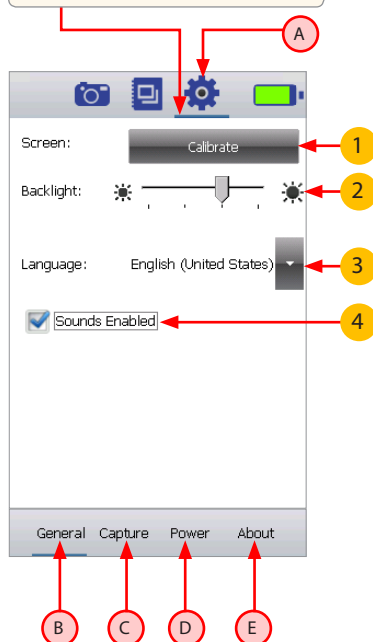


番号	アイコン	説明
1	画像ビューア	選択した画像や、レビュー用の画像ペアを表示し、ズームとパンの機能があります。
2		倍率を上げるためにタッチすると、詳細な表示画像が得られます。連続ズームにするには押したままにします。
3		倍率を下げるときにタッチし、詳細でない表示画像が得られます。連続ズームアウトするには押したままにします。
4	パン	画像ビューア・ウィンドウ内の所望の位置にドラッグするために、画像ビューアに表示されているファイバ端の画像を長押しします。
5		ペア画像をロック/ロック解除するためにタッチします。画像ペアのプレビューでは、ロック解除機能は、ユーザが個別にペアモードの各画像をズームしたりパンしたりできます。
6		画像マネージャ画面に戻ります。

取扱説明

設定モード概要

このバー/タブはDFD1が設定モードで動作していることを



この設定モードは設定アイコン **A** をタッチして開きます。

このモードは次の通り様々な設定機能があります。

- ・ 一般設定 - **B**
- ・ 画像撮影モード設定 - **C**
- ・ 電源設定 - **D**
- ・ バージョン情報表示 - **E**

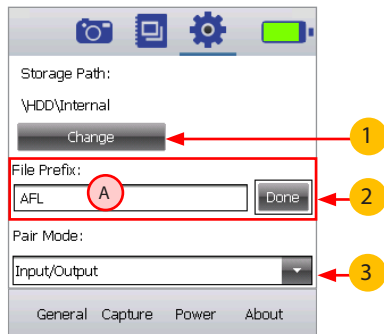
機能の名前をタッチして、所望の機能画面を表示させて下さい。

一般設定

番号	設定パラメータ	説明
1	校正	画面の校正を実行することができます。画面上の指示に従ってください。
2	明るさ	明るさを調整するために、押して左右に動かして下さい。
3	言語	使用可能な言語リストを表示するために、▼ をタッチしてください。
4	音	音を出したり消したりします。

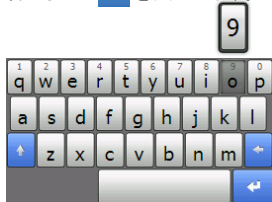
取扱説明

画像撮影設定



テキスト編集

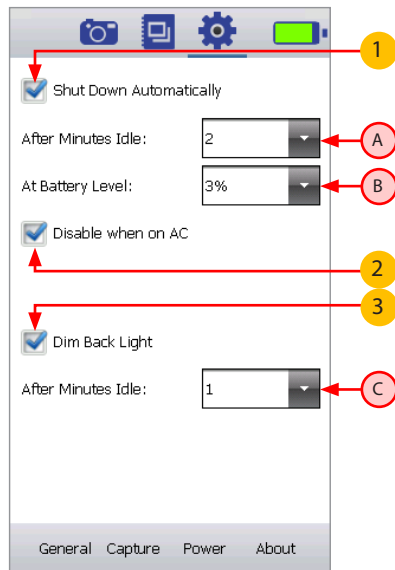
- 文字を入力するためにタッチします。
- 数字(一番上の行)を入力するには押したままにします。
- 大文字に切り替えるには  をタッチします。



番号	設定パラメータ	説明
1	ストレージパスの変更	- 使用可能なドライバとフォルダのリストを表示させます。 - 目的のホルダに移動し、[OK]をタッチします。 - 新しいフォルダを作成するには、[新規フォルダ]アイコンをタッチします。表示されたテキストエディタを使用すると、新しいフォルダ名を入力し、[OK]をタッチします。新しく作成したフォルダは自動的に現在のフォルダになります。
2	ファイルプレフィックス領域	- 画像識別のため、ユーザー定義ファイルのプレフィックスを作成できます。 - テキスト編集を表示させるにはプレフィックス領域の任意の場所 A をタッチします。 - プレフィックスを入力し、[完了]をタッチします。
3	ペアモード	- 利用可能な画像ペアモードのリストを表示するには  をタッチします。 - 希望のモードを選択します。

取扱説明

電源設定



番号	設定パラメータ	説明
1	自動シャットダウン	自動シャットダウン機能を使うには、チェック(有効)または、オフ(無効)します。 - 有効にすると、ドロップダウンメニュー  から目的のオプションを選択し、アイドルタイマー  および電池レベルの制限  を設定することもできます。 - DFD1は非アクティブおよび/またはバッテリーの充電レベル(いずれ限界が先に到達した方)のユーザ定義の時間に到達した後に自動的にシャットダウンします。
2	自動シャットダウンオフ	DFD1ユニットがACアダプター/充電器に接続されているときに自動シャットダウン機能をチェック(有効)またはオフ(無効)をタッチします。

次ページに続く →

取扱説明

電源設定(つづき)

	設定パラメータ	説明
3	バックライトディマー	バックライトディマーをチェック(有効)または、オフ(無効)します。有効にすると、ドロップダウンメニュー▼から目的のオプションを選択し、ディマータイマー C を設定することができます。

画面について



[バージョン情報]画面は、OSのバージョンや FOCISソフトウェアのバージョン情報をユーザに提供します。



お問い合わせ先

仕様、操作方法など技術的な問合せ	修理の問い合わせ、装置送付先
〒135 - 8512 東京都江東区木場1 - 5 - 1 株式会社フジクラ エネルギー・情報通信カンパニー 精密機器事業部 技術部 TEL: 03 - 5606 - 1636 FAX: 03 - 5606 - 1536 URL: http://www.fujikura.co.jp	〒861 - 0312 熊本県山鹿市鹿本町梶屋748 フジクラプレジジョン株式会社 サービスセンター TEL: 0968 - 46 - 4012 FAX: 0968 - 46 - 5180

記載製品につきましては、予告なしに仕様その他の内容を変更することがあります。

